

## 津軽ダム本体建設工事

安藤ハザマ・西松特定建設工事共同企業体

半世紀前に完成したダムが生まれ変わります！！



ダム上流面



ダム下流面

※再開発のダムで新旧ダムがこれほど近接(約60m)しているのは全国的にも珍しい光景です。

### 1 目的・概要

津軽ダムは、「世界自然遺産・白神山地」を源流とする岩木川水系岩木川の青森県中津軽郡西目屋村に建設を進めている堤高 97.2m、堤頂長 342m、堤体積 759,000m<sup>3</sup>の重力式コンクリートダムである。直上流にある目屋ダム(昭和 35 年完成)の再開発として、洪水調節、流水の正常な機能の維持、かんがい用水、水道水及び工業用水の補給、発電を目的とし、平成 28 年度完成を目指して建設工事を進めています。

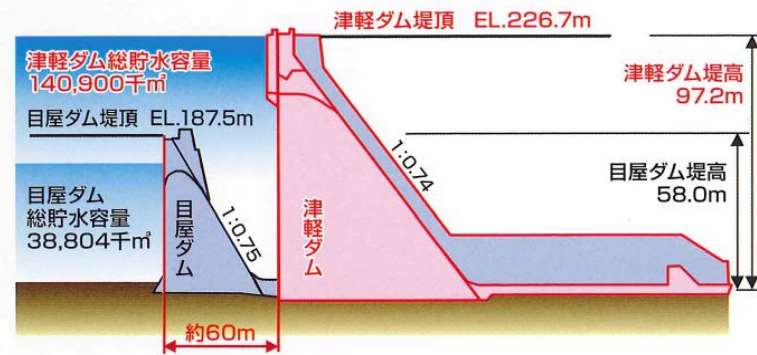
ダム本体の建設工事は 2008 年 11 月に着手、2014 年 8 月にダム本体のコンクリート工事が完了し、2016 年 2 月の試験湛水開始に向け、工事の最終段階に入っています。

完成すれば、青森県内で最大の重力式コンクリートダムとなります。

今後の見所は、試験湛水時の非常用洪水吐からの放流です。そこからの放流は基本的には洪水時等非常時にしか行われません。試験湛水時は唯一、天候の良いタイミングで放流されます。その水の流れるさまは、まるで羽衣の滝のような光景で、その素晴らしい情景を見ることができます。(右上写真参照:長井ダム(山形県)放流状況)



青森県西目屋村



目屋ダムと津軽ダムの比較

【まめ知識】 ～試験湛水とは？～

ダム完成前に試験的にダム湖に水を貯めることです。

試験湛水により運用開始前の最終チェックを行います。

試験湛水時放流状況。写真は長井ダムの放流の様。長井ダムは越流部(水が流れるところ)の幅が約 50m、津軽ダムでは 100mと約 2 倍であるため、より壮大な光景が望めます。



### 2 現場を支える技術 ～～ 巡航 RCD 工法 ～～

RCD 工法は、コンクリートダムの合理化施工法として我が国で開発されたもので、セメント量の少ない超硬練りのコンクリートをブルドーザで敷均し、振動ローラで締め固める工法です。津軽ダムでは、その RCD 工法を改良し、さらに施工速度を向上させた巡航 RCD 工法を採用しました。(日本で 3 例目)



### 3 工程・スケジュール、現場の見頃

工種	平成20年度			平成21年度			平成22年度			平成23年度			平成24年度			平成25年度			平成26年度			平成27年度			平成28年度		
	4	10	3	4	10	3	4	10	3	4	10	3	4	10	3	4	10	3	4	10	3	4	10	3			
基礎掘削工																											
堤体コンクリート工																											
基礎処理工																											
転流工																											
仮設備工																											
管理設備工																											
周辺整備工																											
試験湛水																											

放流予定!!  
H28春

試験湛水!

### KEY PERSON

平成 26 年 8 月、東日本大震災による工事中断を乗り越え、工事着手から約 6 年という長い年月を経て、当初予定通り、堤体打設完了に至った。これまでは堤体打設完了を目標に 堤体・減勢工・機電関係、チーム一丸となって突っ走ってきた。今後は試験湛水に向けた様々な細部工種を各チーム分散し、確実に遂行していかなければならない。試験湛水に向け一つも遅れが許されない中、今まで以上に各チームの連携が重要となる。



安藤ハザマ・西松特定建設工事共同企業体  
工事課長(堤体) 機電課長 工事課長(減勢工)

碓井 猛司 寺田 幸男 川本 卓

連絡先  
一般社団法人 日本建設業連合会 東北支部  
仙台市青葉区本町 2-2-3 TEL 022-221-7810 FAX 022-265-9465